



千葉県「保健医療計画」と  
「地域医療連携パス」について

千葉県医師会理事

田畑陽一郎 医師  
たばた よういちろう



現在、全国的に医療崩壊が叫ばれています。千葉県も例外ではありません。人口10万人対比で病院数が全国44位、一般診療所数が44位、病床数が45位、介護老人保健施設数が42位など、医療資源の不足が目立ちます。そればかりか、本県は全国第2位の速さで超高齢化社会へと突き進んでおります。

このような状況下で、「千葉県保健医療計画」が改定されました。改定されたこの計画では、住み慣れた町で安心して生活するための4項目を提唱しています。それは、①救急、在宅医療、医療連携など「質の高い保健医療提供体制の構築」②県民一人ひとりの健康づくりの推進としての「総合的な健康づくり」③子ども、高齢者、障害者、人材養成などの「保健・医療・福祉の連携確保」④健康、危機管理、医療安全などの「安全と生活を守る環境づくり」です。

その中の具体的施策の一例として、『循環型地域医療連携システム』の構築があります。それは、「脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・がん」の4つの疾病に対して、「千葉県共用医療連携パス」が作成され、病気の発症から入院、回復、在宅まで患者さんにとって切れ目のない医療が受けられることを目的とするものです。このパスには、一人ひとりの治療計画や治療経過が記録されており、患者さんも治療の予定や計画が把握でき、また連携医療機関の間で情報も共有できます。また、高齢化対策の一環として、基準病床数の見直しが行われた結果、3362床の増床が可能となりました(平成23年5月)。

このような施策が実行に移され、現在の医師・看護師不足、小児科・産科診療科の減少、病院の休止・廃止、救急医療の疲弊・撤退などの医療危機回避への一助となることを大いに期待したいと思えます。

目次

特集

悩んでいませんか? もしかして、私も「痔」? 1

百薬カフェ

胃食道逆流症(GERD) 5

新風—千葉県の最新医療情報紹介—

不妊治療の今 6

アスリートに聞く! ~スポーツとカラダづくり~

プロ野球選手(千葉ロッテマリーンズ)

今江敏晃さん 8

スポーツコーナー

冬に負けない! 室内でできるおすすめ運動 10

元気からだ! Q&A

日本脳炎の予防接種について 11

健康ひろば千葉

暴飲暴食による胃・食道障害  
急性アルコール中毒について 12

こども相談室

こどもの便秘 14

こころの健康 ~思春期の心の悩みと病~

ルールが守れない子ども No.2 15

千葉県インフォメーション

感染性胃腸炎に注意しましょう  
麻しん(はしか)の予防接種は受けましたか? 16

情報ファクトリー

介護保険制度について No.2 18

旬食野菜クッキング

ねぎ 19

医師会インフォメーション

間違い探しクイズ 他 20